

# I 女性研究者支援モデル育成事業の 事業報告

## 課題の概要

○課題名	「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」
○総括責任者名	「 中村 信一 」
○機関名	「 金沢大学 」

### 機関の現状

【女性研究者の人数】最近約10年間における金沢大学の女性研究者数は約10% (102人) から14.5% (154人) と微増傾向にある。しかし内訳をみると、大学院学生 (26%, 博士後期課程入学者) に比して助教 (22%), さらに教授 (9%) と職階を追う毎に割合は低くなり、採用・昇任の際に、女性にとって超えがたい障壁が生じていたためだと考えられる。また分野別では理工系が6.7%と他分野と比して少ない。

【これまでの取り組み】金沢大学では平成13年に「金沢大学男女共同参画推進委員会」を設置し、数々の女性支援策に取り組んできた。具体的には、授乳室の設置 (平成16年度)、教職員を対象とした全学的なアンケートの実施 (平成17年度) などが挙げられる。また、本事業の1年目にあたる平成20年度には、病児保育施設を設置するとともに、「男女共同参画キャリアデザインラボラトリー」を開設し、女性研究者数増加のために多様な施策に取り組んでいる。

### 計画構想

男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを新規に立ち上げ、積極的に研究を継続し成果をあげるための研究環境整備、次世代女性研究者を魅了するための制度構築、及び啓発 (エンパワーメント)・広報活動を行う。

- ①人材バンクおよび情報交換ネットワークとしての人材サロン Women-in-link (WIL) の運営
- ②取得容易な育児・介護休業制度・金沢プランの構築
- ③里山活動を利用した学童保育支援の構築
- ④学長裁量経費に女性研究者支援枠を設置及び研究パートナー制度による研究支援
- ⑤優秀な若手女性研究者の雇用・多様なキャリアパスの創出
- ⑥キャリアモデルとなる人材の育成及び発信、講義・講演会・研究会の充実

これらの支援策により女性研究者数、女性リーダーを増やすとともに、女性が生き生きと活躍できる男女共同参画を実現する。

### 達成目標 (ミッションステートメント)

#### 【プログラム実施期間終了後】

- ①女性研究者数を現在より10人程度増やし全体の割合として約16%にまであげる。
- ②キャリアパスの多様性を増やすとともに、理工系の女性研究者の支援策として高度専門技術を有した Skilled Specialist (SS) ポストを2人分用意し、理工系女性研究者数を8%にあげる。
- ③助教・准教授の昇格を増やし教授職の女性の割合を12%とする。

#### 【10年後】

女性研究者数を25%に、また教授の女性割合は倍増の20%にする。連動して職員の管理職も増やす (課長; 現行2名から20%へ、部長; 現行0%から20%へ)。

リーダーシップのとれる女性研究者を増やし、その中から経営にも参画する女性の割合を現在の0%から20%にする。

## ミッションステートメント

○課題名	「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」
○総括責任者名	「 中村 信一 」
○機関名	「 金沢大学 」

### (1) 計画構想の概要

女性研究者が研究成果をあげることができる環境を構築し、必要なポジティブアクションをとることによって女性研究者を支援する。また次世代の女性研究者を魅了し育成するために、制度整備や啓発・広報活動を行う。

- ①男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの新規立ち上げ
- ②人材バンクおよび情報交換ネットワークとしての人材サロン Women-in-Link(WIL)の運営
- ③取得容易な育児・介護休業制度金沢プランの構築
- ④里山活動を利用した学童保育支援の構築
- ⑤学長裁量経費・研究パートナー制度を利用した研究支援
- ⑥優秀な若手女性研究者の雇用・多様なキャリアパスの創出
- ⑦モデル人材の育成・及び発信、講義・講演会・研究会の充実

### (2) 実施期間終了時における具体的な目標

#### 【プログラム実施期間終了後】

- ①女性研究者数を現在より10人程度増やし全体の割合として約16%にまであげる。
- ②キャリアパスの多様性を増やすとともに、理工系の女性研究者の支援策として高度専門技術を有した Skilled Specialist (SS) ポストを2人分用意し、理工系女性研究者数を8%にあげる。
- ③助教・准教授の昇格を増やし教授職の女性の割合を12%とする。

#### 【10年後】

- ①女性研究者数を25%に、また教授の女性割合は倍増の20%にする。連動して職員の管理職も増やす(課長;現行2名から20%へ、部長;現行0%から20%へ)。
- ②リーダーシップをとれる女性研究者を増やし、その中から経営にも参画する経営参画女性を現在の0%から20%にする。

### (3) 実施期間終了後の取組

女性研究者支援プログラムで構築されたシステム(キャリアデザインラボラトリー、人材サロンWIL等)はそのまま存続し、女性研究者支援にあたる。またこれらのシステムによって考案された制度は、女性研究者支援プログラムとしての有効性を評価し、存続あるいは改善して発展させる。里山を利用した学童保育プランは地域との連携を通し、新たな資金源を得て存続させる。研究パートナー(サポーティングスタッフ)制度、科研費取得者の有給非常勤研究員雇用については、優秀な人材の確保のために継続をめざす。またキャリアパス拡大および女性研究者支援のための新規ポスト(高度専門技術を有したSS)については存続させる。

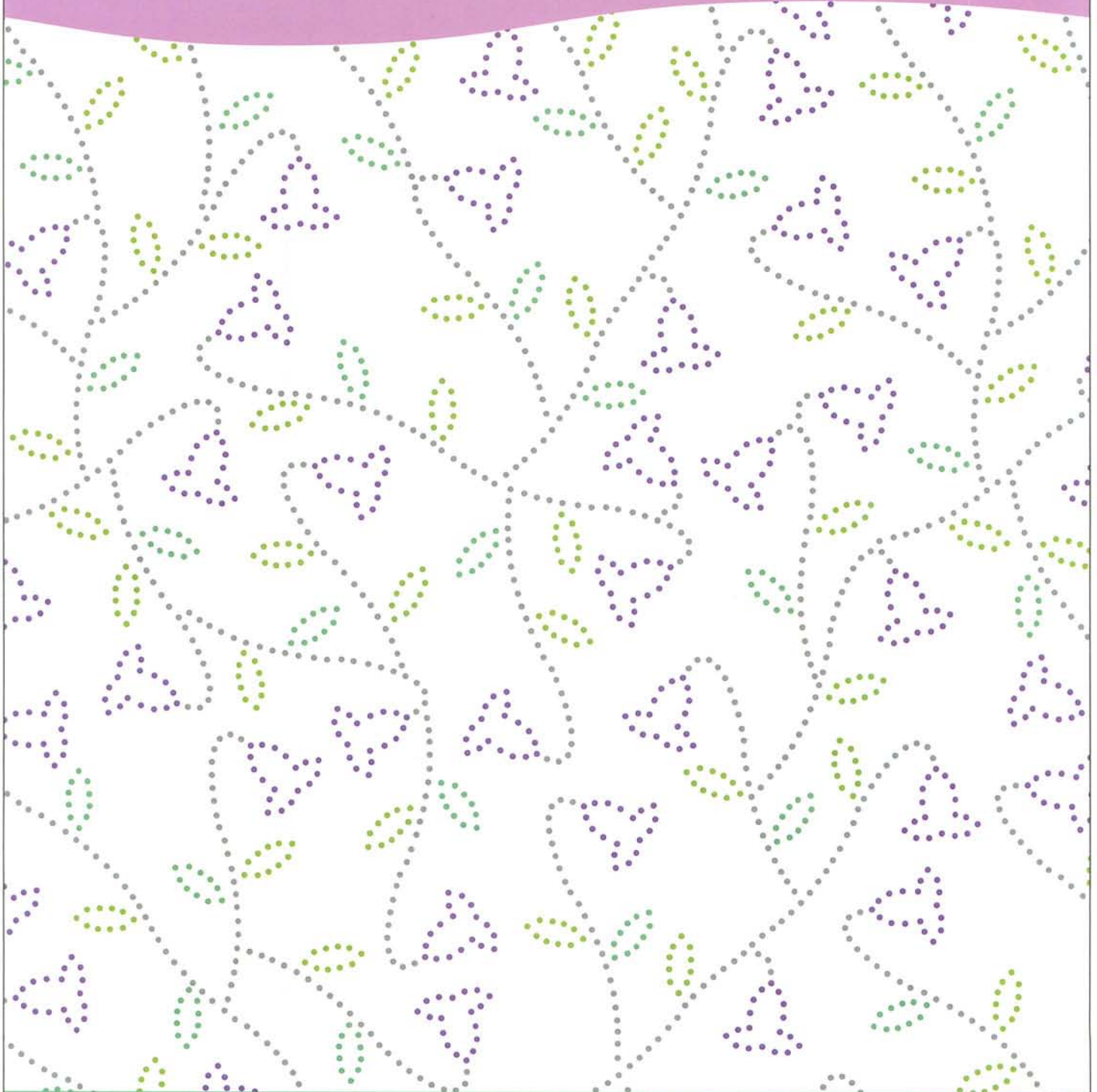
### (4) 期待される波及効果

- 金沢大学を取り巻く自然を大切にす里山活動を利用した学童保育サポートは自然に恵まれた多地域における機関にとってのモデルケースを提示できる。
- 高度専門技術員(SS)については、研究機関では同じコンセプトのポストがみられるが、教育も行う大学において、キャリアモデルとして学生にアピールする効果は十分にあり、我々の試みによって広く他大学にも波及することが期待される。
- 現在は石川県、金沢市が連携の主たるパートナーであり、これをさらにすすめて北陸地域全体での連携を広げる。北陸の基幹大学としての金沢大学の取り組みにより、広く北陸全体の男女共同参画への取り組みを発展させる。

Kanazawa University

やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援

2008-2010



Career Design Laboratory for Gender Equality



平成 20 年度  
文部科学省科学技術振興調整費  
「女性研究者支援モデル育成」事業

# やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援

男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを中心に、女性研究者支援策を積極的に展開し、女性研究者を増やすとともに女性が活躍できる男女共同参画支援モデルの開発を行ってきました。



## 人材サロンWIL (women-in-link)

金沢大学人材バンクの作成・運営、及び人材サロンWILの運営を行なっています。

### 金沢大学人材バンク

研究パートナーや、大学での実験補助者、解析補助者など、さまざまな人材の募集を行ってきました。ホームページにて人材の募集・登録を実施しています。

E-mail: [talentbank@ku-jinzaibank.jp](mailto:talentbank@ku-jinzaibank.jp)

URL: <https://www.ku-jinzaibank.jp/TalentBankPC/Top>



人材バンク登録者数  
**95名**  
(平成23年2月28日現在)

### 人材サロンWIL

各種セミナー、キャリアカウンセリング、情報交換、女性向け・ジェンダー関連図書・DVDの貸出を通じて、交流ネットワークの構築と学生へのキャリア支援を行いました。

項目	年度	テーマ
セミナー	H20	理工系学生向け就職セミナー
		女性のための健康セミナー ～美しく、健康的な女性であるために～
	H21	先輩に学ぶ女性研究者支援 ～名古屋大学の取り組みから～
		キャリアセミナー ～将来について考えてみませんか？～
H22	就活・キャリア相談@南地区	
茶話会	H21	育児について話しましょう!

・研究者への支援 ・研究職への再チャレンジ支援 ・研究者間の交流ネットワーク構築 ・学生へのキャリア支援



## 働きやすい職場環境へ

子育て中の研究者が、研究を中断することのないように支援するとともに、外部資金を獲得できる自立した女性研究者の増加をめざします。

### 里山KIDS ROOM

里山活動を利用した保育支援として、里山自然学校と連携し里山KIDS ROOMを開設しました。

年度	テーマ
H20	「雪だるま祭 in 角間の里 2009」に合わせて開設
H21	先生と一緒に角間の里山で生物・植物を観察しよう!
H22	ぶらんつ・きんぐどむ・ハンター ～植物界の多様性をつかまえるよ～

研究活動を行う時間を確保  
×  
子どもの科学する心を育てる

学会開催中の一時保育について、  
金沢市と連携して施設の案内を開始

### 育児・介護休業金沢プラン策定

育児・介護休業者の業務を担った教員にはサバティカル期間を与えるというバトンタッチ・サバティカル制度などを提案し、育児・介護休業を取得しやすくするプランの構築を図りました。

項目	年度	テーマ
調査・インタビュー	H20	学内女性研究者に対する実態調査
	H21	育児休業についてインタビュー
講演会・意見交換	H20・21	米国の大学の取り組み・組織運営
		育児について茶話会
	H22	北欧社会における男女共同参画
		金沢市の子育て支援 石川県の子育て支援





## 3 広報・啓発活動

講義を実施するほか、シンポジウム・講演会・研究会・イベントの開催、女子中高生を主な対象とした理系進路選択のためのサポートを実施しました。

### 理系進路選択のためのサポート

高校への出前実験を実施し、参加者は約600名にのぼります。女子校生向け相談窓口もオープンキャンパス等で実施しています。

### 女性研究者研究紹介 ポスター展

「Beauty in Science, Technology and Engineering」と題したポスター展では、理工系女性研究者および女子学生が研究の中でとらえた美の一瞬を紹介しました。ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー、オープンキャンパス、金沢駅、金沢大学附属図書館等で計10回展示しました。

### 講演会・シンポジウム

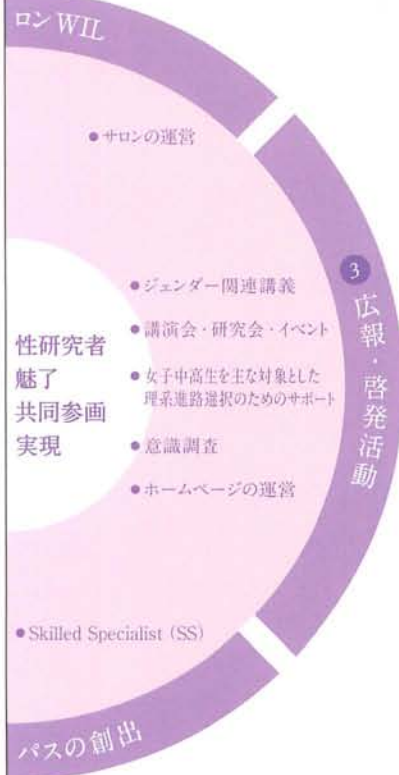
年度	テーマ
H20	第1回金沢大学女性研究者支援シンポジウム 「大学のやる気と地域連携」
	北海道大学の女性研究者支援事業
	プリンストン大学からの提言 アメリカの女性研究者をめぐる現状
H21	女性研究者を養成するしくみ プリンストン大学からの提言2
	第2回金沢大学女性研究者支援シンポジウム
	「女性研究者のキャリア継続 ～社会・制度・パートナーの役割へ～」
H22	ジェンダー学の授業担当者のための勉強会
	北欧社会における女性 スウェーデン、デンマーク、ノルウェーの事例から
	子育て支援 ～金沢市の取り組み～
	女性医師の生き方セミナー（共催）
	第3回金沢大学女性研究者支援シンポジウム
	「多様な人材を生かす大学へ ～女性研究者養成のこれから～」
	石川県の子育て支援

### ジェンダー関連講義

「理系のジェンダー学」「ジェンダー学実践編」計357名「公開講座」計27名

### その他

- ・石川県男女共同参画に関する県民意識調査の分析を担当。
- ・北陸農政局での研修の講師を担当。



## 4 多様なキャリアパスの創出

キャリアパスをバラエティに富んだものにするによって、これまで研究職を視野にいれていなかった女性を引きつけ、研究者数増につなげました。

### 研究パートナー制度

研究と出産・育児、介護等を行う女性研究者に対して研究補助業務を行うパートナーを派遣する制度です。開始当初より高い評価を得、制度利用枠の拡大や利用期間の延長などの要望がありました。平成22年度後期からは、育児休業を取得した男性研究者も対象となりました。研究者のタマゴであるパートナーにとっては、研究の姿勢を学んでもらう機会とします。

年度	前期(件)	後期(件)	合計(件)
H20	—	14	62
H21	9	12	
H22	16	11	

研究パートナー自身が  
教員へ採用されキャリアアップ

3件

論文数

制度利用前 1.6本/年

利用中 2.3本/年

### Skilled Specialist

博士学位取得者を対象に、従来のカテゴリーに入らない安定的な研究者ポストを試行しました。教員と同格の分析やデータ解析等のスペシャリストを採用し、うち1名は熊本大学の助教へ採用されました。

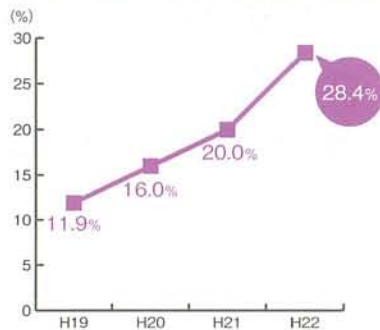
### 若手女性研究者支援

研究費を獲得しているにもかかわらず定職を持っていない女性研究者を有給非常勤研究員として雇用する制度。うち1名は東京大学の助教へ採用されました。

## 金沢大学の現状

- 女性研究者の割合 女性研究者の採用割合・女性研究者の割合ともに増加傾向にあり、意識改革等によって女性の採用が促進されました。

新規採用に占める女性研究者の割合



女性研究者の割合



□これまでの主な取組

平成13年	「金沢大学男女共同参画推進委員会」設置
平成16年	授乳室の設置
平成17年	教職員を対象に全学的なアンケートの実施
平成20年	「女性研究者支援モデル育成」事業採択
	育児短時間勤務制度を導入
	病児保育施設を設置
	男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを設置・開設
平成21年	学長補佐(男女共同参画推進担当)が置かれる
平成22年	介護休暇制度創設
	子の看護休暇の最大取得日数が増加
	基準適合一般事業主に認定



里山 KIDS ROOM



ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー



金沢駅研究紹介ポスター展



シンポジウム



出前実験

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業とは

女性研究者がその能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として、研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、その能力を十分に発揮しつつ研究活動を行える仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援する事業です。



金沢大学 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

〒920-1192 金沢市角間町 Tel: 076-234-6907 Fax: 076-234-6908

E-mail: cd\_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp URL: <http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp>

2021年3月発行